

■主な施策

(1) 安全・安心の推進

ア 輸送の安全性の向上

- (ア) バス車両への安全装置の導入 107両
- (イ) 鶴舞線可動式ホーム柵の整備
可動式ホーム柵の製造及び設置 順次稼働 伏見駅から原駅の12駅
- (ウ) 運輸安全マネジメントの推進
- (エ) 乗務員の脳健診の実施
- (オ) 乗務員の熱中症対策

イ 災害対策・セキュリティ強化

- (ア) 地下鉄構造物の耐震補強
東日本大震災を踏まえた高架構造物の柱の補強 実施箇所 1駅及び3区間
- (イ) 浸水警報装置の整備 瑞穂区役所駅始め3駅
- (ウ) 地下鉄車内カメラの設置
安全利用のため、地下鉄車内を撮影するカメラを設置 東山線 54両(9編成)
- (エ) 地下鉄駅構内カメラの増設
 - a 鶴舞線可動式ホーム柵設置に伴うカメラの整備
 - b 安全利用のため、トイレの出入口付近を撮影するカメラを増設 新瑞橋駅始め12駅18か所

ウ 計画的な維持管理

- (ア) バス車両の更新
 - a 計画的なバス車両の更新 106両
 - b 電気バスの試行導入 1両
電気バスの購入及び充電設備の設置
- (イ) バス停留所施設管理システムの開発
- (ウ) 地下鉄名城・名港線車両の更新
省エネルギー性能に優れ、「子ども・子育てサポートスペース」を設置した新型車両を導入 18両(3編成) 令和10年度以降更新
- (エ) 地下鉄車両の主要電気機器更新
- (オ) 地下鉄構造物の長寿命化
- (カ) 地下鉄駅エレベーター・エスカレーターを更新
- (キ) 地下鉄電気設備の更新

(2) 快適性・利便性の高いサービスの提供

ア 施設のリニューアル

- (ア) バスターミナルの環境改善
工事 新瑞橋バスターミナル 令和8年度完成
調査 名古屋駅バスターミナル
- (イ) バス停留所施設の整備・改修
- (ウ) 地下鉄駅のリニューアル
明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅の壁・床・天井・照明などのリニューアルを実施
部分改修
工事 中村日赤駅、東別院駅、築地口駅 令和9年度完成
設計 新栄町駅、熱田神宮伝馬町駅、名古屋港駅
- (エ) 地下鉄駅のリフレッシュ
鶴舞駅始め8駅
- (オ) 地下鉄駅構内トイレのリニューアル
利用者の快適性向上に向け、全ての便器について洋式化、温水洗浄便座の設置等の改修を実施
工事 名古屋駅始め10駅13か所
設計 新栄町駅始め9駅11か所

イ 誰もが利用しやすい環境づくり

- (ア) 地下鉄駅エレベーターの整備
工事 伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅、本郷駅
調査 池下駅、黒川駅、ナゴヤドーム前矢田駅、六番町駅、大須観音駅
- (イ) ホームと車両の段差・隙間の改善
工事 名城・名港線 12駅
設計 桜通線
- (ウ) 地下鉄駅のバリアフリー設備の充実
- (エ) バス車内への液晶式停留所名表示器の設置 107両
- (オ) 地下鉄の車内案内表示装置の多言語化
- (カ) わかりやすい案内サインの整備 八事駅始め8駅
- (キ) 戦略的な情報発信
 - a 年代ごとの特性などにあわせ、ウェブサイトやSNS等を活用した情報発信を実施
 - b ウェブサイトのリニューアルを実施
- (ク) 市バス・地下鉄のマナー啓発

ウ ニーズに対応したサービスの提供

- (ア) 定期券WEB予約サービスの導入
定期券購入の利便性向上を図るため、WEB予約サービスの導入に向けたシステム開発(令和8年度導入)

- (イ) クレジットカード対応券売機の設置拡大
クレジットカード対応券売機の増設 高畑駅始め13駅26台
(3駅13台から16駅39台へ拡大)
- (ウ) キャッシュレス化の推進
クレジットカードタッチ決済等の導入に向けた自動改札機等の改修
(令和8年度以降導入)
- (エ) 地下鉄のダイヤの改正
通勤・通学利用者が集中する時間の混雑緩和を図るため、ダイヤを改正
名城・名港線(令和7年9月実施)
- (オ) 東山線の混雑緩和策の検討
- (カ) 地下鉄駅ホームの冷房化
工事 御器所駅(桜通線)始め8駅
設計 新栄町駅始め3駅

(3) まちの将来に向けた行動

ア まちづくり等との連携強化

- (ア) 栄駅の総合的な整備
- (イ) リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備

イ 環境負荷の低減

- (ア) 照明のLED化
 - a バス停標識及びバスターミナル等の照明のLED化
 - b 地下鉄駅構内及び車内等の照明のLED化
- (イ) 非化石エネルギー自動車の試行導入
電気バスの試行導入 1両
- (ウ) エコドライブの推進

ウ 子ども・子育てのサポート

- (ア) 地下鉄名城・名港線車両への「子ども・子育てサポートスペース」の設置
令和10年度以降更新予定の新型車両にベビーカー利用の方やお子さまが利用しやすいスペースを設置
- (イ) 地下鉄駅でのベビーカーレンタルの試行導入

(4) 持続可能な経営の確立

ア 収入増加策の展開

- (ア) 広告料収入の確保
 - a 地下鉄車内デジタルサイネージ広告の設置 東山線 20編成
(令和8年度 21編成から41編成へ拡大)
 - b 大型デジタルサイネージ広告の設置 栄駅(東山線)
- (イ) 資産の有効活用
 - a 東山線高架下用地の活用方針の検討
 - b 旧名城工場跡地の借地人の再公募に向けた準備及び暫定活用
 - c その他の有効活用
- (ウ) 戦略的な利用促進策の展開
敬老バス利用者や観光客などターゲット層を絞り込み、ニーズを捉えた戦略的な利用促進策を展開
 - a 敬老バス利用者向け施策「アクティブシニアキャンペーン」
 - b 観光客向け施策「やみつきなごめしきっぷ」
 - c 市バスを利用していない若年層向け施策「市バスでPetit旅」
- (エ) イベントの開催などによるお出かけ促進
 - a ウォーキングイベントの実施
 - b 体験型謎解きイベントの実施
 - c プロスポーツチームと連携した利用促進策の実施
 - d 他部局と連携した利用促進策の実施
- (オ) 寄附金収入の確保

イ 事業運営の省力化・効率化

- (ア) 市バスの管理委託の拡大 港明営業所の委託車両数を30両から35両へ増加
- (イ) 地下鉄車両の整備業務の効率化
- (ウ) デジタル技術の活用による業務の効率化
 - a 事務作業の効率化を図るため、生成AIを導入
 - b 地下鉄施設等の維持管理業務用にタブレット端末等を導入
- (エ) 市バス事業の経営基盤強化

ウ 人材の確保・職員力の向上

- (ア) 安定的な人材確保のための取組みの実施
- (イ) 働きやすい環境づくり
 - a 市バスの乗務員待機所や女性職員用トイレ等の整備
 - b 地下鉄駅等における女性職員用施設の設置や仮眠室の個室化等を実施
- (ウ) 職員の教育訓練
 - a バス運転士、駅務員等の養成研修及び基本的な知識・技術の習得を目的とした新規採用者研修を実施
 - b 業務内容・職務経験・職責に応じた現任職員に対する研修等を実施